

構造化問題解決法ワークシート - 問題の整理と明確化

- 記入例を参考に、ご自身の問題や課題を整理してみましょう

問題(課題)リスト	その問題が起こっている原因 または関連する要因	解決の難しさとその理由	問題の重要度、深刻度とその理由
・現在問題(課題)となっていること、または今後問題となりそうなことを書き出しましょう。	・“なぜその問題が起こっているのか”という視点から、リストアップされた問題を引き起こしている原因、または関連要因について書き出してみましょう。 ・できるだけ具体的に書きましょう。	・解決の難しさについて、A(難しさ大)～E(難しさ小)の5段階で評価してみましょう。 ・『解決を誰かに助けてもらえるか』、『問題の原因は自分か、他人か』の視点から評価しましょう。 ・まずは解決が簡単なものから取り組みましょう。	・問題の重要度、深刻度について、A(大)～E(小)の5段階で評価してみましょう。 ・重要だと感じる理由、深刻だと感じる理由を整理しましょう。
例: 仕事の疲れがとれない	・残業が続いている ・仕事を抱え込んでしまう ・上司と連携がとれていない	解決の難しさ(C) 理由: ・仕事を抱え込んでしまうのは自分が原因かも ・上司に相談すれば、配慮してくれるかも	問題の重要度(A) 問題の深刻度(A) 理由: ・日に日に疲れがたまっている気がする ・似たような状況で休職してしまった同僚がいる
①		解決の難しさ() 理由:	問題の重要度() 問題の深刻度() 理由:
②		解決の難しさ() 理由:	問題の重要度() 問題の深刻度() 理由:
③		解決の難しさ() 理由:	問題の重要度() 問題の深刻度() 理由:
④		解決の難しさ() 理由:	問題の重要度() 問題の深刻度() 理由:
⑤		解決の難しさ() 理由:	問題の重要度() 問題の深刻度() 理由: